

道 新世紀に

奥野代議士へのメッセージ

——湾岸戦争で日本は多額の資金援助をしたのに、各国の評価を得られませんでした。「軍事支援をしな」と世界から孤立する」との声も上がる中、米国同時多発テロ後は後方支援策を打ち出しましたが、やはり注目度は薄い。日本には何が足りないのでしょうか。

世界には「経典の民」と「非経典の民」がいるというところを理解しないといけません。経典の民とは旧約聖書と新約聖書、コーランを持つユダヤ教とキリスト教、イスラム教の人たち。非経典の民はヒンドゥー教や仏教、精霊信仰がある日本やインドの人たちです。

经典の民の考えでは、神が人間の魂の救済のために遣わした預言者の言葉を信じた人が救済される。非经典の民の考えでは、最初に宇宙の真理というものがあられ、人間が修行することでそれに近づいていく。う

まり、経典の民が一番大切にするのはメッセージであり、言葉なのです。非经典の民の日本人には、おこなうことが一番大事で、言葉は二の次になる。

米国側の「ショー・ザ・フラッグ」という言葉が話題になりましたが、あれは敵か味方なのかメッセージを出せという意味ですよ。ところが日本は行動を示すことだと考えた。小泉首相は7項目のマクシオンプラ

ンまで作ったけれど、ブッシュ大統領が感謝の演説をしたとき、またも日本の名は出てこなかった。

日本の国際貢献／評価



行動より重い言葉

このことか。小泉首相が世界貿易センタービルの焼け跡に立ち、世界に反テロ、人道支援を叫ぶのが一番よかったんじゃないでしょうか。メッセージを出さないと、日本でも多くの人が税金や募金を一

生懸命集め、善意のお金を出しても、こちらがしていることが相手に十分理解してもらえないわけです。

もつと活用できないものじゃないか。政府とのどんな関係が望ましいのでしょうか。

政府とNGOが対立するという考え方は、政府の批判勢力としてNGOをとらえて、NGOの本質を見失っていますね。

真にNGOが育つためには税制を変えすることも必要です。日本は政府に近い直接税と相続税が高く、市民一人ひとりが裁量権を持って自由に使えるお金が少ない。間接税の比率を高くし、相続税を安くするべきでしょう。

■NGO活用

■NGO活用

■市民の裁量

■市民の裁量

■焼け跡から

■明確なメッセージを

■NGO活用

■市民の裁量

■市民の裁量

■市民の裁量

医療テントで予防接種の注射を受ける難民の子も

02年2月、パキスタンのラティファバード難民キャンプで写真提供・AMDA

と③NGOも政府もできないこと④NGOだけができないこと⑤4分野があると思

現場では、国立病院の医師もボランティアの医療従事者も一緒に医療をすれば相乗効果が出ますよね。でも健康保険による医療保障や、水や電気などのインフラ整備は政府にしかできない。一方で、災害などが発生した直後の3日間、政府がなかなか動かないとき、NGOははっと動くことができる。政府とNGOが協力できる分野、できない分野を素早く割り出し、国民に公表して協力体制をつくるのが望ましい。

NGOは貧しい人を対象にした収益事業、富を分配する行政の監視、いかに生きるかという倫理道德の分野にもかかわらず活動できる。財務省経由で税金を政府に使うのも一つのやり方ですが、NGOにお金を出す場合、自分の希望する用途に直接お金を使うことができる。これは究極の民主主義ですよ。市民が直接関与できる権力を活用しないのは本当にもったいない。

人道援助安全保障構想です。NGOが「命の普遍性」を大切に活動を通じて形成される信頼関係で、平和を構築することです。